

関市のために
ありがとう
ございます



10月15日、今年で61回目となる市制記念日に市政功労者の表彰式が行われました。地方自治や産業、社会福祉、保健衛生、教育文化などで功績のあった18の方が尾関市長から表彰を受けました。

また、多大な寄付などで2人の方と1企業に感謝状が手渡されました。この日の午後からは教育功労者の表彰式があり、16人の方と1団体に教育委員長から賞状が手渡されました。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



一面に白いじゅうたん

武芸川町谷口の寺尾地区にある4反ほどの畑に10月上旬、白いそばの花が一面に咲き、見ごろを迎えました。作っているのは「NPO法人自然、生活共生会」の皆さん。耕作放棄地の再生を目指して、そば栽培で対策を図ることとし、関市きらめき市民活動助成金の交付を受けて整備しました。収穫したそばは、イベントなどで振る舞われる予定です。

刃物産業ますますの発展を

「刀都」関市の秋を彩る一大イベント「刃物まつり」が10月8・9日の2日間、本町通り商店街を中心に開催され、多くの観光客でにぎわいました。天候にも恵まれ、約26万人の人出があり、刃物大廉売市やアウトドアズナイフショーでお値打ち製品を求める人々であふれました。古式日本刀鍛錬や居合道の試し切りなど、伝統の技も見ることができ、まち中が熱気で包まれたお祭りとなりました。





板取の山でキノコ狩り

キノコの種類や見分け方などを学んでもらおうと、板取地域在住の住民でつくる板取グリーンクラブが主催して、恒例の「雑きのご研修会」が開かれました。県内外から約50人が参加して、キノコを採取。県立森林文化アカデミー教授からキノコの名称や特徴、毒性の有無などを学びました。キノコは天ぷらや鍋料理、炊き込みごはんなどにして振る舞われ、自分たちで採った秋の味覚に舌鼓を打っていました。

市内をぐるりと見学バスツアー

市政に対する知識を深めるため、市民の皆さんが市内の施設などを訪ねる「市政見学バス」が2日間運行され、板取の株杉や洞戸円空記念館、関鍛冶伝承館や食品工場などを訪れました。参加者は、市内の美しい自然にふれたり、訪れた先々で担当者からその施設でどんなことをしているのかなどの説明を熱心に聞き、身近な場所で新たな魅力を発見していました。



ものづくりと環境配慮を学習

田原小学校5年生児童が、校区内にある工場の経営と環境対策について学習しました。「工場長ゲーム」(ボードゲーム)を通して、環境に気を配りながらより多くの物を生産する工場の経営を体験。収益を得ることと環境への優しさとのバランスに配慮して、エコポイントの獲得に挑戦しました。工場経営の難しさを実感しながら、工夫や努力で環境の保護につながることを理解しました。

森林環境教育で間伐体験

県が進める「緑と水の子ども会議」で、洞戸中学校1年生生徒が、間伐体験で森林管理の重要性などを学習しました。地元の森林で、木材会社社長らの指導を受け、チェーンソーなどを使ってヒノキの切り方や倒し方などについて手ほどきを受けました。生徒らは、ある程度木を切ることで太陽の光が届き、育ちが良くなるという間伐の大切さを実感していました。



こぼれ話



8月1日号で「我が家でもできる節電対策」として、へちまによるグリーンカーテンのお話をしました。このへちま、その後どうなったかといいますと、ぐんぐん伸びたつらは2階の屋根に届くほどに。実も大小あわせて10個ほど実らせただしょうか。

実が熟してくるとちょっと困ったことが・・・そう、頑張っ「たわし」を作らねば・・・広報紙で公言してしまった私(T.T)というわけで、困ったときのインターネット「へちま」「たわし」「作り方」というような

キーワードで検索!!ちゃんと出てきます。へちまを腐らせないでたわしにする方法・・・へちまを鍋で煮るんです。柔らかくなった皮と実、最後に中にたくさん詰まっている真っ黒い種をとるのが大変ですが、正味1時間程度の作業の後、よく乾燥させて完成しました。早速風呂で使うと、最初は痛いですが、だんだん柔らかさが出てきて、個人差はありますが1週間ほどで、ちょうど良い堅さとなり、気持ちよく体を洗えるようになります。天然繊維の手作りたわし。なかなか良いですよ!